



村上 嘉男 議員（自民新政法会）

町の情報セキュリティ対策の取り組みを問う

町長 庁内ネットワークは、外部からアクセスできない

質問 町は、法令等に基づき、個人情報や企業の経営情報等の重要情報を多数保有している。また、業務の多くが情報システムやネットワークに依存していることから、住民生活や地域の社会経済活動を保護するため、町は情報セキュリティ対策を講じ、保有する情報を守り、業務を継続することが必要となっている。

27年3月、総務省が情報セキュリティのガイドラインの改訂版を発表し、町でも対策を強化するとともに、検証が必要と考えるが。
町長 情報流出を防ぐため、庁内ネットワークの基本部分は外部からアクセスできないよう独立させている。ま



庁舎内にあるサーバー室

た16年に瑞穂町情報セキュリティポリシーを策定し運用している。28年1月から実施されるマイナンバー制度への対応に併せてチェック表による点検を予定している。災害時のデ

質問 27年4月に執行された瑞穂町議会議員選挙では、前回と比較し5ポイント上回る投票結果となった。また、次回予定されている選挙の28年参議院選挙から、選挙権年齢を

村山 正利 議員（自民新政法会）

有権者が投票しやすい環境整備を

町長 可能なところから改善している



18歳以上に引き上げる等の法改正があった。引き続き有権者が投票しやすい環境を整備する必要があると考え、次の点について町長の所見を伺う。
問① 新たな投票所設置の考えは。
町長 16年に第9投票区として高根町集会所に投票所を設置した。その後、投票環境の改善を図るため、期日前投票所を増設している。現状では、新たな投票所の設置は考えて



箱根ヶ崎駅東西自由通路に設置された期日前投票所

いない。
問② 現投票所での課題や問題点は。
町長 投票所の設置場所、広さ、駐車場、投票所までの距離など、それぞれに課題があるが、可能なところから改善している。
問③ 公職選挙法の改正に伴う町の対応は。
町長 主権者教育の対応が重要であると考え、各関係機関と連携し、有権者への啓発、周知に努めていく。



原 隆夫 議員（公明党）

駅前に、観光案内所を兼ねた休憩施設を

町長 観光客の動向や意見を聞き、今後の計画に生かしたい

質問 町は、平成24年より「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」を推進している。この計画により既に「さやま花多来里の郷」の整備が進み、町外からの来訪者も多くなった。しかし、駅近くで休憩するところがなく、休憩施設を望む声が多い。高齢者の方々の居場所づくりともなるような多用途の施設として、駅前に用地を確保し、観光案内所を兼ねた休憩施設を、早急に設置すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

必要である。現在は駅前臨時的にコンシェルジュに常設の案内所や休憩施設の設置の考えはない。観光案内所については、商工会がイベント時やカタクリ開花時期などにあわせて駅東西自由通路の一角に

町長 桜やカタクリの開花時期に観光客が集中することから、年間を通じて案内所を確保すべきか、また、案内所と休憩所の運営を行う政が行うべきか議論が



イベント時に活用されるコンシェルジュコーナー（箱根ヶ崎駅）

質問 学校での組体操の取組みは、一部の地域ではブームの様相すらあるが、その一方で重大事故により後遺症が残った事例を含む負

傷事故が後を絶たない。そもそも組体操については、学習指導要領等にも記載が無く、すでに文部科学省もその実施には不適切との旨を認めているなど、問題点が多い。

瑞穂町および学校としても、危険な組体操の取組みを早急に取り止めるよう提案する。
教育長 町教育委員会では、校長連絡会を通じて組体操の内容や安全管理について確認すると同時に、技の難易度を下げるなど、児童の体力と安全面に配慮して実施するよう指導してきた。

齋藤 成宏 議員（民主党）

危険な「組体操」を早急に取り止めるべきでは

教育長 「組体操」は成長の一端が見られる教育活動の一つ

今後、児童の成長の一端が見られる教育活動の一つとして、校長の判断を尊重しつつ、危険と思われる内容の見直しを図るとともに、安全に十分配慮し、児童の発達段階を踏まえた運動会を実施できるように指導していく。



運動会での組体操の様子

ながら見守り連携事業地域に密着した事業者である東京都信用金庫協会、日本郵便東京支社が日常業務をしながら子どもや高齢者などの弱者を見守ってもらう都の事業。